

DA502

Product Specification



希望小売定価(税込み)	
DA502	297,000円/台

総合仕様	
電源電圧	AC100V~240V
出力	50W × 2
周波数特性	5Hz~70kHz(+0/-3dB)
ダンピングファクター	300
トータル寸法	280(W) × 369(D) × 79.5(H)
質量	4.0kg
入出力	
入力端子	L/R RCA UNBALANCED × 3 L/R XLR BALANCED × 1
出力端子	SP OUT L/R × 1 LIN OUT L/R RCA × 1
同梱品	
3P電源コード、3P-2P変換アダプター RCAショートピン×4、取扱説明書、保証書	

忠実再生に拘ったシンプル且つ精査された設計仕様

- (1) スwitchング電源から供給されるDC電源を、適切な電源回路でコンバートして再調整し、瞬発力あるクリーンな電源を作り出している。(2) 音量コントロール回路に、7個のチップ抵抗の組み合わせによる二進数音量コントロール方式を採用し、音質対応を優先させた。
- (3) 演奏時には、論理回路のクロック発振を停止しノイズの混入を防止。
- (4) パターン配線を極力短く対象にし、更にはグラウンドパターンの配置にもこだわり、高周波レベルでの信号処理の最適化を目指した。
- (5) プリント基板のレジストは、通常はパターン配線が見える半透明の緑色などが使われるが、音質的に好ましいと言われる黒色のレジストを採用し、音質対応を優先。
- (6) ボトムカバーとトップカバーは非磁性体であるアルミ板(T=2.0)を使用しているが、振動を防止するために共振モードを考慮したポイント(8か所)を真鍮製の支柱で固定。
- (7) リアパネルの端子と基板を繋ぐ信号用ケーブルは、論理的に信号伝送に優れており、且つ試聴確認でも優位な高品質の燃線(AWG18)をツイストペアにしたケーブルを使用。
- (8) 線材と基板の接続には、基板上の信号パターンの配置的に最適な位置に配した金メッキネジ式端子を使用し、高周波レベルでの信号処理を最適化している。また、線材の端子部には端子名を入れ、今後のグレードアップなどにも配慮。

Tom's lab
〒434-0034
浜松市浜北区高畑2-3
TEL : 090-5115-5497
E-MAIL : info@tomslab.jp
HP : <http://www.tomslab.jp/>

ハイスペックで高精度な電子部品

- (1) 最終段のコイルとコンデンサーは全数測定し、共振周波数が同じになるように組み合わせている。必要容量の10倍の余裕のCoilcraft製コイルVER2923-682KLと、音質評価の高いWIMA製フィルム・コンデンサーを使用。
- (2) 前段のオペアンプは、TI製OPA1612(超低歪み0.000015% マニア好みのしっとりとした音質)と、LT製LT1364(超高速1000v/usec SlewRate 特出した超解像度)を好みにより選択可能。
- (3) パワーアンプチップには超HD評価のTI製TPA3251D2を採用。超低歪み0.005%(1W時) HiPower140w/4Ω(1%歪み時)
- (4) カップリングコンにはルビコン(薄膜高分子積層コンデンサー)を使用。アルミ電解コンデンサーに比較して解像度や透明感があり、澄んだ音になる。
- (5) 音声信号が通過する抵抗は、誤差0.1%の薄膜抵抗を使用。抵抗熱雑音が少なく澄んだ音になる。
- (6) プリント基板は4層FR4銅箔厚70umにて製作。一般的な銅箔厚35umに比べ、大電流や振動に対する性能が向上。
- (7) 電子部品の半田付けは音質評価の高いKester44を使用。チップ部品もクリーム半田を使用せず、全数手作業で丁寧にソルダーリングしている。

セミオーダー仕様

- (1) 二進数音量コントロール方式によるVOLUME使用位置の適正化
使用スピーカーの能率や嗜好音量の大小により、アンプのゲインを調整し、VOLUME使用位置を適正化する。
- (2) 前段オペアンプの選定
2種類の音質傾向を持つオペアンプの中から、ユーザーの嗜好に合わせた選択が可能。
- (3) INPUT (XLR) の極性
接続するBALANCED仕様の機器に極性を合わせる。
2番端子HOT or 3番端子HOT